

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公開番号】特開2010-6762(P2010-6762A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-169211(P2008-169211)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4468 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4468

A 6 1 P 25/04

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 9/70 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月27日(2011.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体、フェンタニル含有粘着性膏体層及び剥離ライナーからなる経皮吸収型貼付剤において、経皮吸収型貼付剤全体に対して0.01～0.5質量%のL-アスコルビン酸パルミチン酸エステルをフェンタニル含有粘着性膏体層に含有するフェンタニル含有経皮吸収型貼付剤。

【請求項2】

L-アスコルビン酸パルミチン酸エステルの配合量が、フェンタニルの配合量に対する質量比(L-アスコルビン酸パルミチン酸エステル/フェンタニル)で0.0015～0.5の範囲である請求項1記載のフェンタニル含有経皮吸収型貼付剤。

【請求項3】

フェンタニル含有粘着性膏体層にゴム成分を含有する請求項1又は2記載のフェンタニル含有経皮吸収型貼付剤。

【請求項4】

フェンタニルを含有する経皮吸収型貼付剤中に、L-アスコルビン酸パルミチン酸エステルを経皮吸収型貼付剤全体に対して0.01～0.5質量%配合せしめることを特徴とするフェンタニルの一次分解物及び/又は二次分解物生成抑制方法。

【請求項5】

一次分解物がフェンタニル-N-オキサイド体である請求項4記載のフェンタニルの一次分解物及び/又は二次分解物生成抑制方法。

【請求項6】

二次分解物が、N-フェニルプロピオンアミド、N-(1-ヒドロキシペリジン-4

- イル) - N - フェニルプロピオンアミド、(1 - フェネチル - 2 - オキソピペリジン - 4 - イル) - N - フェニルプロピオンアミドおよびスチレンのいずれか 1 種以上である請求項 4 又は 5 記載のフェンタニルの一次分解物及び / 又は二次分解物生成抑制方法。